

2019年2月 長崎市中央センター「さくら通信」掲載

第3回 高齢者ふれあいサロンを通じた「まち」と「ひと」のつながりをご紹介します

「公民館に行けば誰かが居て、話が出来て、楽しく過ごせるようなサロンにしたい」という思いを持った白木町の高齢者ふれあいサロンと、「地域で活動したい」という思いを持ったNPO法人がつながることにより、それぞれの思いを叶えることができました。



左：白木自治会 会長 小柳伸一郎さん

右：NPO 法人 環境保全教育研修所（通称：へんちくりん）
代表理事 豊田菜々子さん

田手原町にある【NPO法人 環境保全教育研究所（通称：へんちくりん）】の代表理事を務める豊田菜々子さんは「人と自然が今の時代に合った形で共生している社会の実現」を目指し、「里山保全」「自然体験」「まちづくり支援」といった活動を行っています。

豊田さんは大学生の頃、子ども達のキャンプや、白木町の高齢者ふれあいサロンなどへの参加といったボランティア活動をされていたそうです。大学生活を通して「自然体験を仕事にしたい!」と思い、大学4年生の時に【へんちくりん】を立ち上げました。一緒に活動したい仲間が周りにいたこと、「田手原地区にある空き家と裏山について活用できないか」という相談を受けたことも活動を行うきっかけになったそうです。

しかし、実際に里山保全や自然体験活動を行ううちに「気持ちに余裕がないと、人は環境保全に目を向けてくれない」という考えを豊田さんは持ちます。



【へんちくりん】が整備している竹林。
立派な竹が青々と茂っています。

一方、小柳会長は当時、忙しい毎日を送りながら高齢者ふれあいサロンの運営をしていました。「自分の都合がつかないとサロンが開催できない」「同じ曜日の開催では、通院や決まった用事など日程の都合で、いつも参加できない人がいる」という悩みを抱えていましたが、自分だけではどうすることもできませんでした。そこで小柳会長は、以前より地域活動に参加してくれていた豊田さんにサロンの運営について話をします。お互いの気持ちが合致した二人は、【へんちくりん】によるまちづくり支援事業として、高齢者ふれあいサロンの運営を支援することになりました。



【へんちくりん】でイノシシ対策のために飼っている
ヤギの「め〜たろう」はみんなの人気者！

豊田さんは【へんちくりん】の活動で得たノウハウを活かして、竹を使った門松作りやそうめん流しなど新しい内容をサロンで実施しました。毎週開催されるサロンのうち、【へんちくりん】は第2金曜日を担当。豊田さん自身は事前準備と当日のお手伝いを行い、参加者の皆さんが自主的に活動する、みんなで一体となって作る高齢者ふれあいサロンです。参加者の一人は「皆さんの笑顔を見ることができて嬉しい」と話していました。

小柳会長の悩みも豊田さんが関わることにより解決。参加者が増え、笑顔の絶えない楽しいサロンになりました。参加者の皆さんは、お喋りを通して豊田さんに人生の様々なアドバイスを送ることも。「市外出身だが、白木のおじいちゃん、おばあちゃんが色々教えてくれる」と豊田さんは嬉しそう。お互いを信頼した、素敵な関係が築かれています。



12月にはみんなで楽しく門松作り。

豊田さんは高齢者ふれあいサロンだけでなく、精霊船作りや地域のお祭りに関する自治会活動も手伝っています。今までの地域活動に寄り添い、うまく協力ができているそうです。「全く知らなかった場所で、まるで地域住民のような関係性を皆さんと築けたことがよかった」と豊田さんは笑顔で話してくれました。ほんわかとした豊田さんの雰囲気と、様々な提案を受けいれる小柳会長の柔軟性がマッチした白木町では、今後も参加者自身が楽しめる活動が続いていきそうです。



明るい笑顔で皆さんの人気者です！